

指定給水装置工事事業者に係る申請書・届出書の提出先(表紙)

水道事業者 殿

令和 6 年 3 月 21 日

センテック

申請者 氏名又は名称 株式会社 S E N T E C、
 〒593-8314
 住所 大阪市堺市西区太平寺539-1
 代表者氏名 代表取締役 ミキ センジ 三木 宣二
 電話番号 072-289-9909
 FAX番号 072-289-9908
 メールアドレス info@sentec-net.com

下記のとおり、申請書・届出書を提出します。

1. 申請・届出をする書類(ひとつだけの□に✓を入れて下さい)

この「表紙」は、申請書・届出書毎に作成し、各書類の前に付けて下さい。

- ①指定給水装置工事事業者指定申請書～様式第1、別表、様式第2
- ②指定給水装置工事事業者指定事項変更届出書～様式第10
- ③指定給水装置工事事業者廃止・休止・再開届出書～様式第11
- ④給水装置工事主任技術者選任・解任届出書～様式第3

2. 申請・届出をする水道事業者(□に✓を入れてください)

申請・届出をする水道事業者数 1 者

NO.	水道事業者名	チェック	NO.	水道事業者名	チェック	NO.	水道事業者名	チェック	NO.	水道事業者名	チェック
1	奈良市 公営企業管理者		8	御所市 水道事業管理者		15	斑鳩町 水道事業管理者		22	広陵町 上下水道事業管理者	
2	大和高田市 上下水道事業管理者		9	生駒市 水道事業管理者		16	安堵町 水道事業管理者		23	河合町 水道事業管理者	
3	大和郡山市 上下水道事業 の管理者		10	香芝市 上下水道事業の管理者 の権限を行う市長		17	磯城郡 水道企業団企業長		24	吉野町 水道事業管理者	
4	天理市 上下水道事業 の管理者		11	葛城市 上下水道事業管理者		18	高取町 水道事業管理者		25	大淀町 上下水道事業管理者	
5	橿原市 上下水道事業管理者 の権限を行う市長		12	宇陀市 水道事業管理者 の権限を行う市長		19	明日香村 水道事業管理者		26	下市町 水道事業管理者 の権限を行う町長	
6	桜井市 上下水道事業管理者 の権限を行う市長	✓	13	平群町 水道事業管理者		20	上牧町 水道事業管理者				
7	五條市 水道事業管理者		14	三郷町 水道事業管理者		21	王寺町 水道事業管理者				

様式第 1 (水道法施行規則第18条関係)

指定給水装置工事事業者指定申請書

水道事業者 殿

令和 6 年 3 月 21 日

センテック

申請者 氏名又は名称 株式会社 S E N T E C
〒593-8314
住 所 大阪府堺市西区太平寺539-1
代表者氏名 代表取締役 ミキ センジ 三木 宣二

水道法第16条の2第1項の規定による指定給水装置工事事業者の指定を受けたいので、同法第25条の2第1項の規定に基づき次のとおり申請します。

役員（業務を執行する社員、取締役又はこれらに準ずる者）の氏名	
フリガナ 氏 名	フリガナ 氏 名
代表取締役 ミキ センジ 三木 宣二	取締役 ミキ アキコ 三木 彩香子 取締役 セモト ユウジ 瀬元 裕次
事業の範囲	管工事業、水道施設工事業、土木工事業
機械器具の名称、性能及び数	別表のとおり

(備考) この用紙の大きさは、A列4番とすること。

当該給水区域で給水装置工事の事業を行う事業所の名称	株式会社SEN TEC
上記事業所の所在地	郵便番号 593-8314 住所 大阪府堺市西区太平寺539-1 電話番号 072-289-9909 FAX番号 072-289-9908 メールアドレス info@sentec-net.com
上記事業所で選任されることとなる給水装置工事主任技術者の氏名	給水装置工事主任技術者免状の交付番号
三木 宣二	第284904号

当該給水区域で給水装置工事の事業を行う事業所の名称	
上記事業所の所在地	
上記事業所で選任されることとなる給水装置工事主任技術者の氏名	給水装置工事主任技術者免状の交付番号

(備考) この用紙の大きさは、A列4番とすること。

別表（水道法施行規則第18条関係）

機 械 器 具 調 書

令和 6 年 3 月 21 日 現在

種 別	名 称	型式、性能	数 量	備 考
管の切断用の 機械器具	金切りのこ 塩ビカッター	固定式鋸弦 φ13～25	7	
			7	
管の加工用の 機械器具	パイプねじ切り器 やすり 面取り器	φ50A～100A 300平型判丸型 φ50A～100A	1	
			2	
			2	
管の接合用の 機械器具	パイプレンチ トーチランプ	13mm～100mm ガスボンベ式	1	
			5	
水圧テスト ポンプ	手動式テスト	T-50K	4	

（注）種別の欄には「管の切断用の機械器具」、「管の加工用の機械器具」、「接合用の機械器具」、「水圧テストポンプ」の別を記入すること。

（備考）この用紙の大きさは、A列4番とすること。

様式第2（水道法施行規則第18条及び第34条関係）

誓 約 書

指定給水装置工事事業者申請者及びその役員は、水道法第25条の3第1項第3号イからへまでのいずれにも該当しない者であることを誓約します。

令和 6 年 3 月 21 日

申請者

氏名又は名称 株式会社 S E N T E C
住 所 〒593-8314
大阪府堺市西区太平寺539-1
代表者氏名 代表取締役 三木 宣二

水道事業者 殿

（備考）この用紙の大きさは、A列4番とすること。

履歴事項全部証明書

大阪府堺市西区太平寺539番地1
株式会社SEN TEC

会社法人等番号	1201-01-048527		
商号	株式会社SEN TEC		
本店	大阪府堺市西区太平寺539番地1		
公告をする方法	官報に掲載してする。		
会社成立の年月日	平成24年7月2日		
目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 給排水衛生設備工事の設計、施工及び管理 2. 管工事業 3. 水道施設工事業 4. 大工工事業 5. 左官工事業 6. とび・土工工事業 7. ほ装工事業 8. 塗装工事業 9. 防水工事業 10. 内装仕上工事業 11. 前各号に附帯する一切の業務 		
発行可能株式総数	1万株		
発行済株式の総数並びに種類及び数	発行済株式の総数 300株		
資本金の額	金300万円		
株式の譲渡制限に関する規定	当会社の株式を譲渡によって取得するには、株主総会の承認を受けなければならない。		
役員に関する事項	取締役	<u>三木宣二</u>	
	取締役	三木宣二	
		令和4年8月19日重任	
		令和4年9月5日登記	

	取締役	<u>三木彩香子</u>	平成30年 9月20日就任
			平成30年10月17日登記
	取締役	<u>三木彩香子</u>	令和 4年 8月19日重任
			令和 4年 9月 5日登記
	取締役	<u>瀬元裕次</u>	令和 3年 7月15日就任
			令和 3年 7月19日登記
	取締役	<u>瀬元裕次</u>	令和 4年 8月19日重任
			令和 4年 9月 5日登記
登記記録に関する事項	<u>大阪府堺市南区三木閉1番地1 プラシード・ア ロジオ205号</u>		
	代表取締役	<u>三木宣二</u>	
	<u>大阪府堺市西区太平寺539番地1</u>		平成26年 2月 1日住所 移転
	代表取締役	<u>三木宣二</u>	
	<u>大阪府堺市西区山田一丁1248番地28</u>		平成27年 2月16日登記
	代表取締役	<u>三木宣二</u>	
	<u>大阪府堺市西区山田一丁1248番地28</u>		平成30年 6月30日住所 移転
	代表取締役	<u>三木宣二</u>	
	<u>大阪府堺市西区山田一丁1092番地12</u>		平成30年10月17日登記
	代表取締役	<u>三木宣二</u>	
	<u>大阪府堺市西区山田一丁1248番地28</u>		令和 4年 8月19日重任
	代表取締役	<u>三木宣二</u>	
<u>大阪府堺市西区山田一丁1092番地12</u>		令和 4年 8月19日重任	
代表取締役	<u>三木宣二</u>		
<u>大阪府堺市西区山田一丁1092番地12</u>		令和 5年 3月31日住所 移転	
代表取締役	<u>三木宣二</u>		
<u>大阪府堺市西区山田一丁1092番地12</u>		令和 5年 4月26日登記	
設立			平成24年 7月 2日登記



大阪府堺市西区太平寺539番地1
株式会社SEN TEC

これは登記簿に記録されている閉鎖されていない事項の全部であることを証明
した書面である。

(大阪法務局堺支局管轄)

令和 6年 3月11日

大阪法務局堺支局
登記官

井 手 繁 樹



株式会社設立登記

株式会社SEN TEC

平成24年7月2日登記

—岡田司法書士・行政書士事務所—

06-6763-9900

発起人決定書

1. 設立時取締役は、次のとおりとする。
なお、被選任者は即時就任を承諾した。
設立時取締役 三 木 宣 二
2. 設立時代表取締役は、次のとおりとする。
なお、被選任者は即時就任を承諾した。
堺市南区三木閉1番地1
プラシード・アロッジオ205号
設立時代表取締役 三 木 宣 二
3. 本店の所在場所は、次のとおりとする。
大阪府堺市西区太平寺539番地1

以上の決定を証するため当書面を作成し、発起人が次に記名押印する。

平成24年6月22日

株式会社SENTEC

堺市南区三木閉1番地1
プラシード・アロッジオ205号
発起人 三 木 宣 二



定 款

株式会社SEN TEC



定 款

第1章 総 則

(商 号)

第 1 条 当社は、株式会社SEN TECと称する。

(目 的)

第 2 条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。

1. 給排水衛生設備工事の設計、施工及び管理
2. 管工事業
3. 水道施設工事業
4. 大工工事業
5. 左官工事業
6. とび・土工工事業
7. ほ装工事業
8. 塗装工事業
9. 防水工事業
10. 内装仕上工事業
11. 前各号に附帯する一切の業務

(本店の所在地)

第 3 条 当社は、本店を大阪府堺市に置く。

(公告の方法)

第 4 条 当社の公告は、官報に掲載してする。

第2章 株 式

(発行可能株式総数)

第 5 条 当社の発行可能株式総数は、10,000株とする。

(株券の不発行)

第 6 条 当社の株式については、株券を発行しない。



(株式の譲渡制限)

第 7 条 当会社の株式を譲渡によって取得するには、株主総会の承認を受けなければならない。

(相続人等に対する株式の売渡し請求)

第 8 条 当会社は、相続その他の一般承継により当会社の株式を取得した者に対し、当該株式を当会社に売り渡すことを請求することができる。

(株主名簿記載事項の記載の請求)

第 9 条 株式取得者が株主名簿記載事項を株主名簿に記載又は記録することを請求するには、当会社所定の書式による請求書に、その取得した株式の株主として株主名簿に記載若しくは記録された者又はその相続人その他の一般承継人及び株式取得者が署名又は記名押印し、共同して請求しなければならない。ただし、法令に別段の定めがある場合には、株式取得者が単独で請求することができる。

(質権の登録及び信託財産の表示)

第 10 条 当会社の株式につき質権の登録又は信託財産の表示を請求するには、当会社所定の書式による請求書に当事者が署名又は記名押印して提出しなければならない。その登録又は表示の抹消についても同様とする。

(手 数 料)

第 11 条 前 2 条に定める請求をする場合には、当会社所定の手数料を支払わなければならない。

(基 準 日)

第 12 条 当会社は、毎事業年度末日の最終の株主名簿に記載又は記録された議決権を有する株主（以下「基準日株主」という。）をもって、その事業年度に関する定時株主総会において権利を行使することができる株主とする。ただし、当該基準日株主の権利を害しない場合には、当会社は、当該基準日後に、株式を取得した者の全部又は一部を、当該定時株主総会において権利を行使することができる株主と定めることができる。

2 前項のほか、株主又は登録株式質権者として権利を行使することができる者を確定するため必要があるときは、取締役の過半数の決定により、臨時に基準日を定めることができる。



- 3 前項の場合には、その日を2週間前までに公告するものとする。

(株主の住所等の届け出)

- 第13条 当会社の株主及び登録株式質権者又はその法定代理人若しくは代表者は、当会社所定の書式により、その氏名又は名称及び住所並びに印鑑を当会社に届け出なければならない。届出事項等に変更を生じたときも、その事項につき、同様とする。

(募集株式の発行)

- 第14条 募集株式の発行に必要な事項の決定は、会社法第309条第2項に定める株主総会の決議によってする。
- 2 前項の規定にかかわらず、会社法第309条第2項に定める株主総会の決議によって、募集株式の数の上限及び払込金額の下限を定めて募集事項の決定を取締役に委任することができる。
 - 3 株主に株式の割当てを受ける権利を与える場合には、募集事項及び会社法第202条第1項各号に掲げる事項は、取締役の過半数の決定により定めることができる。

第3章 株 主 総 会

(招 集)

- 第15条 当会社の定時株主総会は、毎事業年度末日の翌日から3ヶ月以内に招集し、臨時株主総会は、その必要がある場合に随時これを招集する。
- 2 株主総会は、法令に別段の定めがある場合のほか、取締役の過半数の決定により社長がこれを招集する。社長に事故があるときは、あらかじめ定めた順序により、他の取締役がこれを招集する。
 - 3 株主総会を招集するには、会日より1週間前までに、議決権を有する各株主に対して招集通知を発するものとする。ただし、会社法第298条第1項第3号又は第4号に掲げる事項を定めた場合には、会日の2週間前までに発するものとする。

(招集手続の省略)

- 第16条 株主総会は、その総会において議決権を行使することができる株主全員の同意があるときは、会社法第298条第1項第3号又は第4号に掲げる事項を定めた場合を除き、招集手続を経ることなく開催することができる。



(議長)

第17条 株主総会の議長は、社長がこれに当たる。社長に事故があるときは、あらかじめ定めた順序により、他の取締役がこれに代わる。

(決議)

第18条 株主総会の決議は、法令又は定款に別段の定めがある場合のほか、出席した議決権を行使することができる株主の議決権の過半数をもって行う。

2 会社法第309条第2項に定める決議は、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、出席した当該株主の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

(株主総会の決議の省略)

第19条 株主総会の決議の目的たる事項について、取締役又は株主から提案があった場合において、その事項につき議決権を行使することができるすべての株主が、書面又は電磁的記録によってその提案に同意したときは、その提案を可決する旨の株主総会の決議があったものとみなす。

2 前項の場合には、株主総会の決議があったものとみなされた日から10年間、同項の書面を当会社の本店に備え置くものとする。

(議決権の代理行使)

第20条 株主又はその法定代理人は、他の株主を代理人として議決権を行使することができる。この場合は、株主総会ごとに代理権を証明する書面を提出しなければならない。

2 株主は、前項の代理権を2名以上の者に行使させてはならない。

(株主総会議事録)

第21条 株主総会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成し、株主総会の日から10年間当会社の本店に備え置くものとする。

第4章 取締役及び代表取締役

(取締役の員数)

第22条 当会社の取締役は1名以上とする。



(取締役の選任)

- 第23条 取締役は、株主総会において、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数の決議によって選任する。
- 2 取締役の選任は、累積投票によらない。

(取締役の任期)

- 第24条 取締役の任期は、選任後10年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までとする。
- 2 補欠又は増員で選任された取締役の任期は、前任取締役又は他の在任取締役の任期の満了すべき時までとする。

(代表取締役及び役付取締役)

- 第25条 当会社に取締役2名以上いるときは代表取締役を1名置き、取締役の互選によって定める。
- 2 代表取締役は社長とする。
- 3 必要に応じて、取締役の過半数の決定をもって、取締役の中から専務取締役及び常務取締役を選定することができる。
- 4 取締役1名のときは、当該取締役を社長とする。

(業務執行)

- 第26条 社長は会社の業務を統轄し、専務取締役及び常務取締役は社長を補佐し、定められた事務を分掌処理し、日常業務の執行に当たる。
- 2 社長に事故があるときは、あらかじめ定めた順序により他の取締役が社長の業務を代行する。

(取締役の報酬等)

- 第27条 取締役の報酬、賞与その他の職務執行の対価として当会社から受ける財産上の利益は、株主総会の決議をもってこれを定める。

第5章 計 算

(事業年度)

- 第28条 当会社の事業年度は、毎年7月1日から翌年6月30日までの年1期とする。



(剰余金の配当)

第29条 当社は、株主総会の決議によって、毎事業年度末日現在における最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対して、剰余金の配当を行う。

(剰余金の配当の除斥期間)

第30条 剰余金の配当は、支払提供の日から満3年を経過しても受領されないときは、当社はその支払の義務を免れるものとする。

第6章 附 則

(設立に際して出資される財産の価額)

第31条 当社の設立に際して出資される財産の価額は次のとおりとする。
金3,000,000円

(設立時発行株式に関する事項)

第32条 当社の設立時発行株式に関する事項は、次のとおりとする。

発起人が割当てを受ける設立時発行株式の数	
普通株式	300株
設立時発行株式と引換えに払込む金銭の額	
1株につき	金10,000円
成立後の株式会社の資本金の額に関する事項	
資本金	金3,000,000円

(最初の事業年度)

第33条 当社の最初の事業年度は、当社成立の日から平成25年6月30日までとする。

(発 起 人)

第34条 発起人の氏名、住所及び発起人が割当てを受ける設立時発行株式の数並びにその払込金額は、次のとおりである。

堺市南区三木閉1番地1

プラシード・アロッジオ205号

三 木 宣 二

普通株式 300株

金3,000,000円



(定款に定めのない事項)

第35条 この定款に定めのない事項については、すべて会社法その他の法令の定めるところによる。

以上、株式会社SEN TECを設立のため、発起人三木宣二の定款作成代理人である司法書士岡田一夫は、電磁的記録である本定款を作成し、電子署名をする。

平成24年6月20日

発起人 三木宣二

上記発起人1名の定款作成代理人
大阪府中央区東平二丁目5番7号
司法書士 岡田一夫



原本に相違ない。

令和6年3月21日

〒593-8314

大阪府堺市西区平野539-1

株式会社SEN TEC

代表取締役 三木宣二



第二八四九〇四号

給水装置専事主任技術者免状

本籍 大阪府

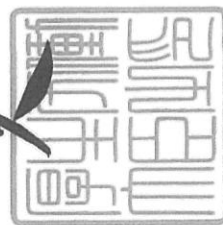
氏名 三木 宣二

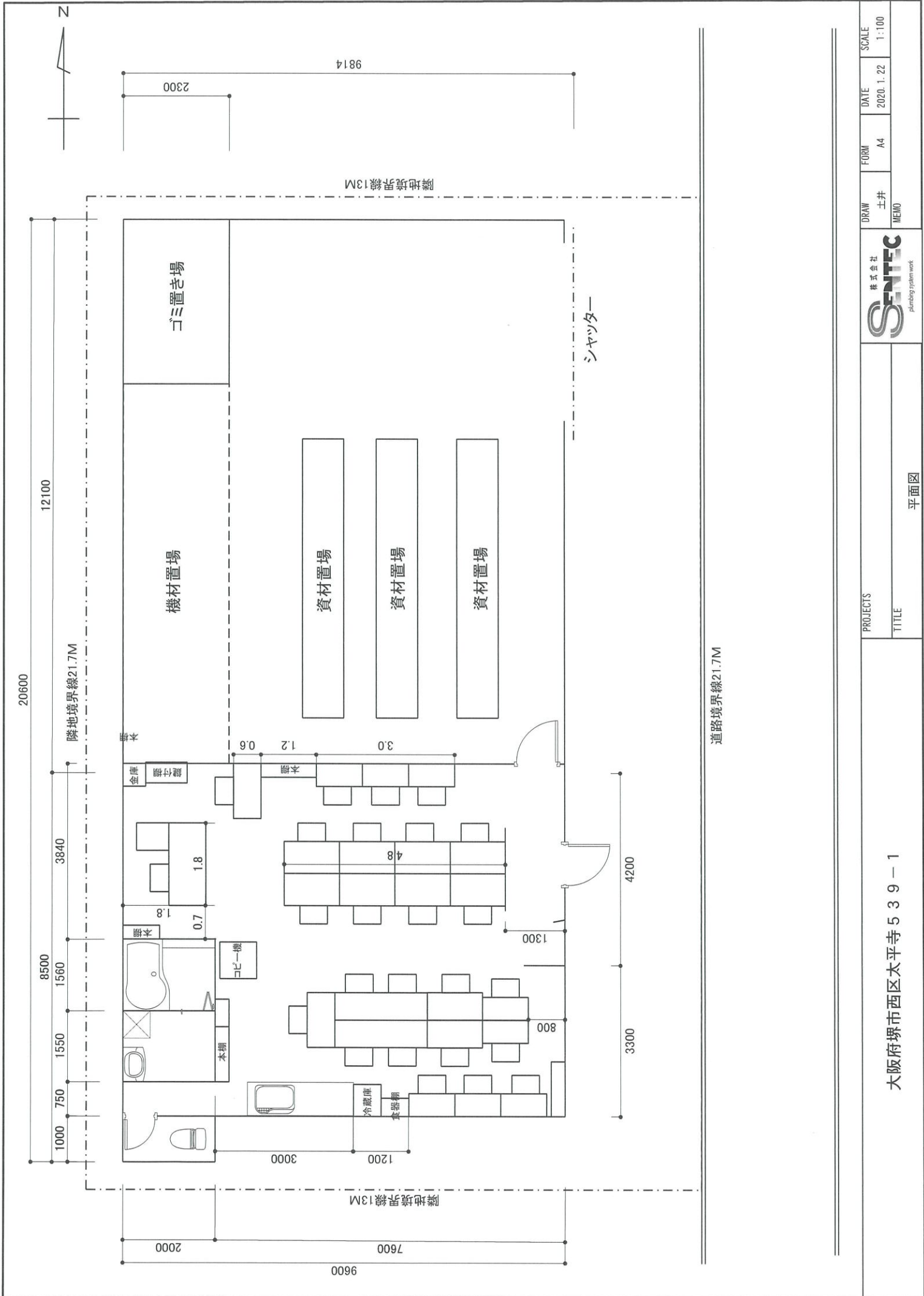
昭和五十五年五月七日生

水道法昭和三十一年法律第百七十七号の
規定により給水装置専事主任
技術者免状を交付する。

平成二十九年一月十六日

厚生労働大臣 塩崎恭久





PROJECTS

大阪府堺市西区太平寺539-1

平面図



DRAW 土井

FORM A4

DATE 2020. 1. 22

SCALE 1:100

MEMO

遠景



近景



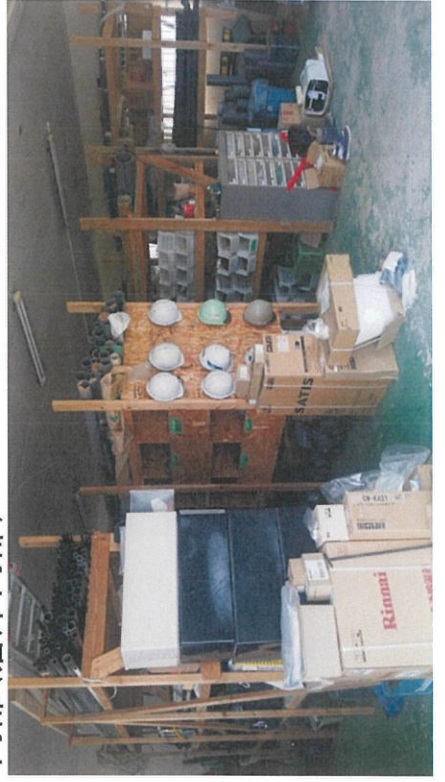
内部(事務所内部)



内部(倉庫内部)



内部(倉庫内部)



指定給水装置工事事業者に係る申請書・届出書の提出先(表紙)

水道事業者 殿

令和 6年 3月 21日

センテック

申請者 ^{フリガナ}氏名又は名称 株式会社SEN TEC
 〒593-8314
 住所 大阪市堺市西区太平寺539-1
^{フリガナ}代表者氏名 代表取締役 ^{ミキ センジ}三木 宣二
 電話番号 072-289-9909
 FAX番号 072-289-9908
 メールアドレス info@sentec-net.com

下記のとおり、申請書・届出書を提出します。

1. 申請・届出をする書類(ひとつだけの□に✓を入れて下さい)

この「表紙」は、申請書・届出書毎に作成し、各書類の前に付けて下さい。

- ①指定給水装置工事事業者指定申請書～様式第1、別表、様式第2
- ②指定給水装置工事事業者指定事項変更届出書～様式第10
- ③指定給水装置工事事業者廃止・休止・再開届出書～様式第11
- ④給水装置工事主任技術者選任・解任届出書～様式第3

2. 申請・届出をする水道事業者(□に✓を入れてください)

申請・届出をする水道事業者数 1 者

NO.	水道事業者名	チェック	NO.	水道事業者名	チェック	NO.	水道事業者名	チェック	NO.	水道事業者名	チェック
1	奈良市 公営企業管理者		8	御所市 水道事業管理者		15	斑鳩町 水道事業管理者		22	広陵町 上下水道事業管理者	
2	大和高田市 上下水道事業管理者		9	生駒市 水道事業管理者		16	安堵町 水道事業管理者		23	河合町 水道事業管理者	
3	大和郡山市 上下水道事業 の管理者		10	香芝市 上下水道事業の管理者 の権限を行う市長		17	磯城郡 水道企業団企業長		24	吉野町 水道事業管理者	
4	天理市 上下水道事業 の管理者		11	葛城市 上下水道事業管理者		18	高取町 水道事業管理者		25	大淀町 上下水道事業管理者	
5	橿原市 上下水道事業管理者 の権限を行う市長		12	宇陀市 水道事業管理者 の権限を行う市長		19	明日香村 水道事業管理者		26	下市町 水道事業管理者 の権限を行う町長	
6	桜井市 上下水道事業管理者 の権限を行う市長	✓	13	平群町 水道事業管理者		20	上牧町 水道事業管理者				
7	五條市 水道事業管理者		14	三郷町 水道事業管理者		21	王寺町 水道事業管理者				

様式第3 (水道法施行規則第22条関係)

給水装置工事主任技術者選任・解任届出書

水道事業者 殿

令和 6年 3月 21日

届出者

氏名又は名称 株式会社SEN TEC
住 所 〒593-8314 大阪府堺市西区太平寺539-1
代表者氏名 代表取締役 三木 宣二

水道法第25条の4の規定に基づき、次のとおり給水装置工事主任技術者の 選任 の届出
解任
をします。

給水区域で給水装置工事の事業を行う事業所の名称	株式会社SEN TEC	
上記事業所で選任・解任する給水装置工事主任技術者の氏名	給水装置工事主任技術者免状の交付番号	選任・解任の年月日
三木 宣二	第284904号	

(備考) この用紙の大きさは、A列4番とすること。

第二八四九〇四号

給水装置事主任技術者免状

本籍 大阪府

氏名 三木 宣二

昭和五十五年五月七日生

水道法昭和五十年法律第百七十七号の
規定により給水装置事主任
技術者免状を交付する。

平成二十九年一月十六日

厚生労働大臣 塩野 恭

